

進化しつづける老舗コース。
安全で楽しい森は、何度も手
軽に訪れてみたい。

「足立青少年の家」コース 福岡県 No.2
JOA公認 No.152 8km 10ポスト

12年前のリベンジ！

前回の「岩国城山」コースに続き、
今回も模範的なパーマネントコースを
紹介します。

公認は152番目ながら昭和46年誕生
の老舗中の老舗、福岡県「足立青少年
の家」コース。山口県に最も近い北九
州市に設置されていることから、広
島から日帰りができる気軽さです。

コースは小倉北区の足立山麓に整備
されている足立公園一帯に設置されて
います。この公園、「森林浴の森日本百
選」に選ばれているだけあって、森の
美しさは申し分なし。フィトンチッド
の香りを存分に浴びながら、心身とも
にリフレッシュできること請け合いです。
地元の方々にも愛されているよう
で、多くの人たちが散策を楽しんでい
ました。

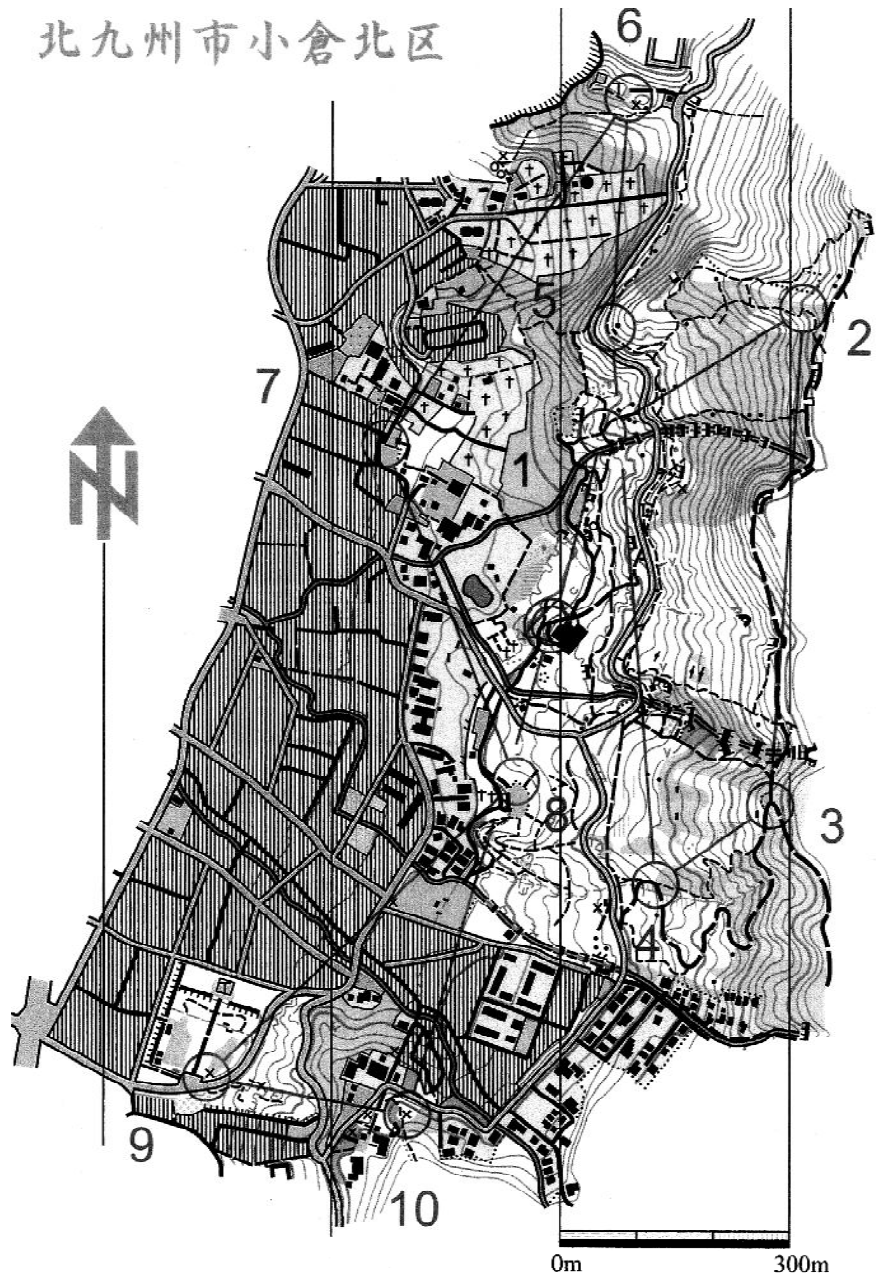
山陽道と北九州都市高速を乗り継いで、
この日は車で現地に向かいます。
ここを訪れるのは今回で2回目。前回は
今から12年前の96年11月のこと。
同じ北九州市の「玄海青年の家」コース
を回った後、小倉駅から西鉄バスに
乗り「広寿山」停留所から5分ほど歩
いていきました。このときは第6ポスト
が見当たらず、消化不良のまま歩き
終えたこともあり、今回はリベンジです。

コースメンテは最新

足立公園の駐車場から舗装された道
を歩いて青少年の家に着くと、12年の
時をしっかりと刻んだ案内板が、以前と
変わらぬ場所にたたずんでいます。

塗装の剥離が激しくなり、コースの
整備状況に一瞬不安がよぎるものの、
掲示されている地図が08年調査の新品
であることに一安心。しかも、2つの
ポストが移設され、回り順が全く異な
っています。以前のコースの最南端に
あった、単なる出戻りポストがカット
され、より足立公園の森林を楽しめる
設定に変わっています。このリニュー
アルは大歓迎！ 結果としてコースの

北九州市小倉北区



印象を大きく引きあげることに成功し
ています。

青少年の家でマップを請うと、1枚
50円でB5判サイズのカラーコピーの
ものを分けてくれます。せっかくマップ
を刷新しただけに、紙がぺらぺらな
ことはちょっと残念。縮尺は1:10,000。
競技にも使用できる通行可能度入りで、
マスターもすでに印刷されています。

整備された遊歩道

11時22分にいよいよ出発！ 前回の
踏破日付が11月22日だったことと

不思議な符合です。スタート直後の第
1ポストが、移設されたうちの1つ。
自ずと歩くルートも変わってきます。
今回歩くルートは前回の地図には記載
がなく、比較的最近整備されたと思わ
れる遊歩道です。階段を上り、水路を
過ぎるとスタートからわずかに5分程度
で道の交点にあるポストに到達します。
嬉しいことにポストはピカピカ。堂々
と鮮やかな姿で立っています。



案内板は傷んでいますが、コースは最新

第2～3ポストは以前と全く同じところ。第1ポストから東に上り、舗装道路を経由して「学びの広場」までやってきます。この横からさらに東に伸びる上り坂を進むと第2ポスト。道路沿いの小道を行くと第5ポストに到達します。よく整備された森に続く小道は、上り坂のつらさを忘れてしまうほどの雰囲気。まさに森林を浴びている気分になります。分岐を正しく見極めて高度を稼ぎ、道の曲がり左手奥に置かれているポストを発見します。

この先から広々とした林道が続き、第3ポストまで導いてくれます。なだらかな下り坂で、周囲の森林の景色をのんびりと眺めながら歩ける快適な区間です。三叉路に第3ポストは置かれています。

次の第4ポストが2つ目の移設ポスト。以前の最南端にあった第5ポストを移したものと思われます。林道をそのまま下ることもできますが、ここは最短路の小道を選びましょう。杉林に続く清々しいルートが待っています。そして、林道と再び合流する地点で真っ赤なポストに出会えます。

ここから、従来のコースでは現在の第10ポストとなった妙見宮のポストへと向かっていたのですが、先述のとおり第1ポストの近くの学びの広場へ再

度向かうこととなります。この先、舗装道路を歩かされそうな区間となるものの、道沿いに遊歩道が整備されていて、足の裏にはとてもやさしいのです。

途中の広場で昼食にします。春には桜見物で賑わうことが目に浮かぶほど、並木に囲まれているところです。暖かな日差しが降り注ぐ中でのお弁当はまた格別。31年もパーマネントコース歩きを続けているのも、こんな瞬間があるからこそ。多くの人にこうした時間を味わってもらいたいものです。広場を過ぎてぐるりと回り込むと道端に第5ポストが立っています。このポスト、以前は最終ポストで、ここからかつての9→8→7→6の順にたどっていきます。

次の第6ポストは従って、以前の第9ポストです。北に向かい、ほどなく巨大なクロスが姿を現します。これは米軍小倉師団によって建設されたという国際連合軍記念十字架〔United Nations Memorial Cross〕。ポストは十字架に見下ろされるように設置されています。以前は上下逆様にポストが置かれていたことを思えば、見事にコースが復活したことを印象付けられます。

ここから足立霊園に向かって下る道は異様な光景が展開されます。大半の首がなくなっている石仏群。五百羅漢と称するその石仏は18世紀後半、小倉の商人親子が建立したものだそうですが、明治はじめの廃仏毀釈の際に破壊されたと言われています。いままそのときのまま無造作に首が転がっていたりするのを見つけると、昼間でもギョッとします。

霊園前を過ぎると、しばらくのあいだ町中の道路を歩くこととなります。第7ポストは小倉小笠原氏初代藩主小笠原忠真が菩提寺として建立したという広寿山福聚寺の正門前に設置されています。



頭を切り落とされた五百羅漢石仏

リベンジ果たして

バス停に通じる道と合流し、緩やかに上っていくと、再び足立公園へと戻

ってきます。車を置いた駐車場の横から南に向かうと、赤松林にある広場の横に堂々と立つポストは遠くからでも確認できます。

次は前回消失していて発見できなかった、公園にあるポスト。全てのポストがここまで刷新されていたことから、ここも問題ないだろうという安心感を抱きつつ歩いていきます。足立公園を後にし、舗装道路を歩いていくと、期待通り実にあっけなくポストの姿を確認することができました。あまりに簡単に拍子抜けするほど。リベンジを無事に果たし、最終ポストへ向かいます。

かつての第4ポストが最終ポストとなり、目指すは妙見宮。道路を正直にたどると出戻りになりますが、日露戦争の戦没者の墓の裏側の斜面を登ると、ショートカットすることが可能です。そして、妙見宮の北に設置されている「猪に乗る和氣清麻呂公像」の横にある第10ポストに到達します。解説文章を読むと、この和氣清麻呂が「足立山」の命名に大きく関わっていることがわかります。何故に和氣清麻呂が猪に乗っているのか、ぜひ現地で確認してみてください。



猪に乗る和氣清麻呂像

桜並木の続く道路から足立公園に戻り、ゴールイン。

今回は整備状態が今ひとつのうえ、早足で一回りしたこともあり、それほどの好印象は残っていませんでした。しかし、今回の挑戦で一変。オススメ度が飛躍的に上がりました。初心者にも安全なうえ、オリエンテーリングの魅力をしっかり体験してもらえるベストコースです。

帰りにはどんこつラーメンを堪能して、大満足の日となりました。

(2009年2月1日 踏破)

(大高竜亮)